

ふくしま 子ども・女性医療支援センター

福島の女性が安心して子どもを産み、育み、健康な一生を過ごせることをめざして



安心して子どもを産み、 育てられる福島県へ

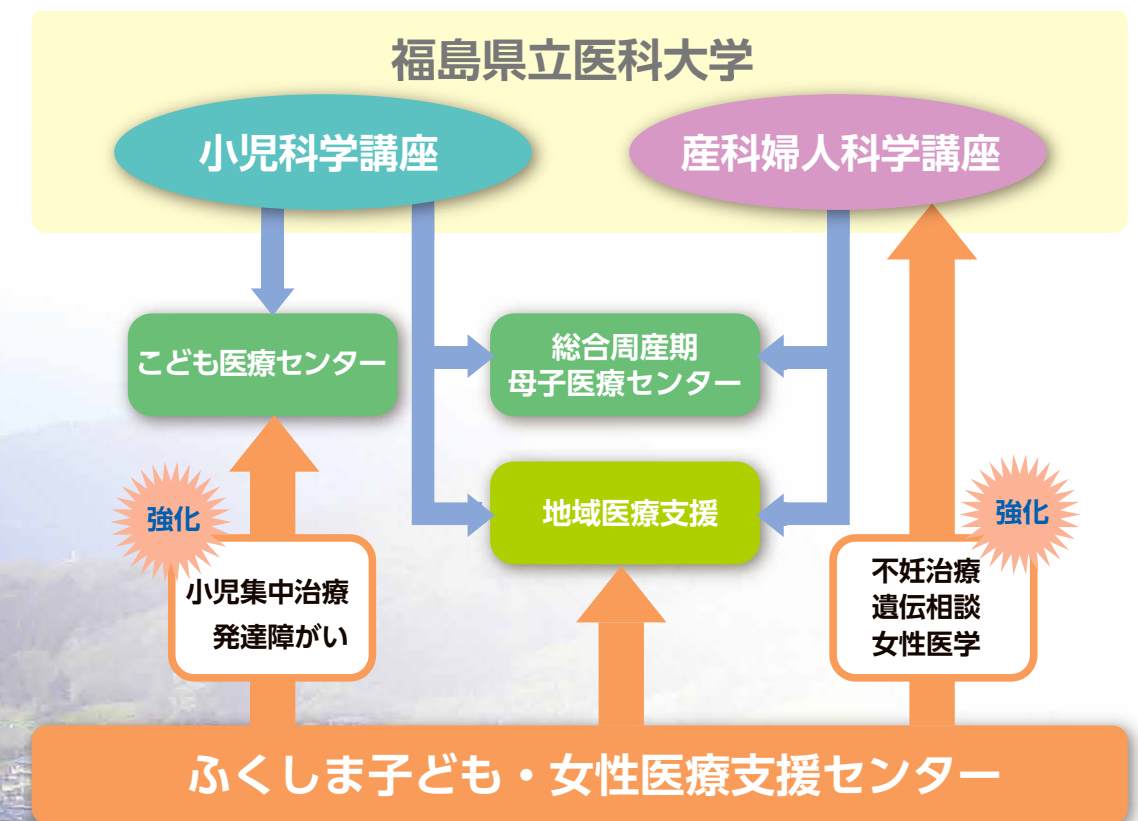
福島県は、慢性的な医師不足や医師の偏在を解消するために、福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置し、県内への医師定着を促進する事業を展開してまいりました。

しかしながら、本県の医療事情、とりわけ周産期医療は依然として厳しい状況下に置かれています。
このような状況を打破するため、県の委託を受け、平成 28 年 4 月、福島県立医科大学に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」が開設されました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例のない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の医療に携わる医師の養成を支援していきます。

福島県の小児科医療・産婦人科医療への センターの関わり



福島の復興を 共に目指しませんか

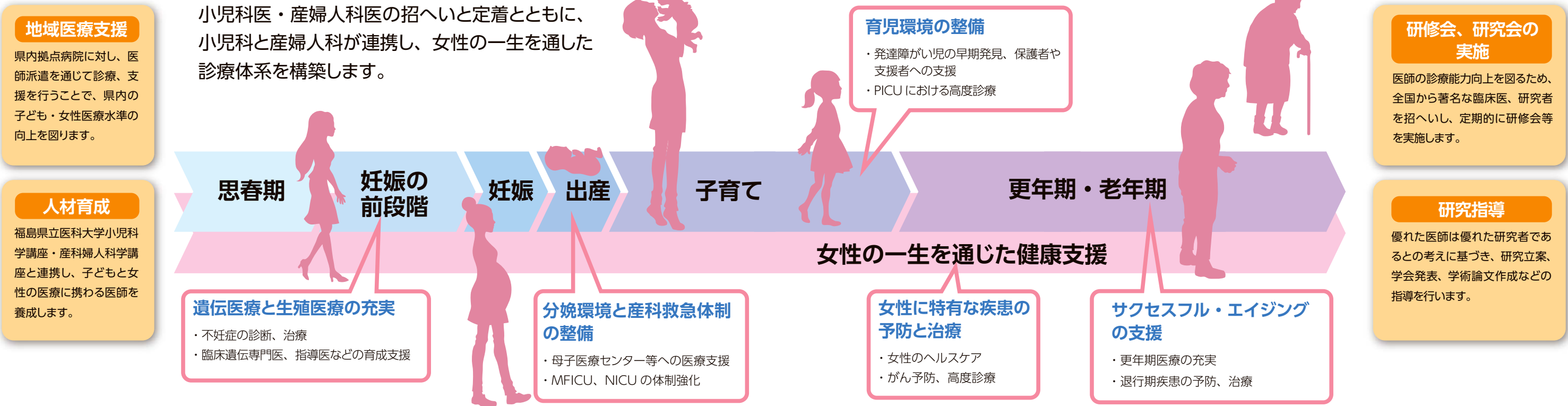
センターでは、小児科医・産婦人科医及びこれらを目指す医師を募集しています。

待遇は資格・学位等により個別に協議いたします。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

花見山【福島市】

写真家の故秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と称した花の名所。マンサク、レンギョウ、ハナモモ、ウメなど四季折々の花が咲き誇り、サクラの頃には山全体がほんのりとピンク色に染まります。

福島県に住む女性が健康な一生を過ごすための医療支援をしながら、安心して子どもを産み、育てる環境をつくります



小児科学講座、産科婦人科学講座と連携し、優れた小児科医、産婦人科医の育成を支援します



センター教員



吉村 泰典
福島県立医科大学副学長
(非常勤)

■専門分野
生殖医学、周産期医学、生命倫理
■研究テーマ・成果
生殖生理学、再生医学、生殖内分泌、発生生物学
■資格
日本産科婦人科学会専門医
日本生殖医学会生殖医療専門医
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
■主な学会活動
2007 年 日本産科婦人科学会理事長 (2011 年まで)
2010 年 日本生殖医学会理事長 (2014 年まで)
2011 年 日本産科婦人科内視鏡学会理事長 (2015 年まで)
その他数多くの学会理事歴任
■主な社会活動
2013 年 一般社団法人吉村やすのり生命 (いのち) の環境
研究所代表理事
2013 年 内閣官房参与 (少子化対策・子育て支援担当)
■受賞歴
松本賞、日本産科婦人科学会栄誉賞、福澤賞受賞



水沼 英樹
センター長
(常 勤)

■専門分野
女性医学、月経異常、更年期障害
■研究テーマ・成果
月経異常の治療法の開発に関する研究
骨粗鬆症の早期発見、早期治療に関する研究
安全性を指向したホルモン補充療法の研究
■資格
日本産科婦人科学会専門医
日本生殖医学会生殖医療名誉指導医
日本女性医学学会専門医
日本女性心身医学会認定医
■主な学会活動
日本女性医学学会理事長 その他複数の学会の理事歴任
■主な社会活動
日本医療研究開発機構女性の健康の包括的支援実用化研究事業
プログラムオフィサー
■受賞歴
第 3 回ノバルティスメノポーズアワード受賞
平成 10 年度日本更年期医学会学会賞受賞
第 14 回松本賞受賞



横山 浩之
教授
(常 勤)

■専門分野
小児神経学
■研究テーマ・成果
子どもの行動異常 (発達障害、
精神障害) とそれに関わる教育・
保健・福祉との連携
■資格
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医
日本てんかん学会専門医
■受賞歴
日本小児神経学会 優秀論文
長嶋賞
■著書
「マンガでわかるよのなのかの
ルール」「マンガでわかる魔
法のほめ方 PT」(科研費基盤
(C)20592571,23593282 に
よる)



高橋 俊文
教授
(常 勤)

■専門分野
生殖医学
■研究テーマ・成果
不妊症の診断・治療
婦人科内視鏡下手術
卵子の老化に関する研究
多嚢胞性卵巣症候群の診断・
治療に関する研究
■資格
日本産科婦人科学会専門医
日本生殖医学会生殖医療専門医
日本産科婦人科内視鏡学会技術
認定医 (腹腔鏡・子宮鏡)
日本内視鏡外科学会技術認定者
(産婦人科領域)
日本内分泌学会内分泌代謝科
(産婦人科) 専門医・指導医
■受賞歴
山形大学医学学会学術賞特別賞
(銀賞) 受賞 [卵の加齢による
胚発育悪化の分子機構]
日本産科婦人科学会学術奨励賞
受賞 [卵の加齢の分子機構]



鈴木 大輔
特任講師
(常 勤)

■専門分野
周産期救急、婦人科内視鏡下
手術
■研究テーマ・成果
子宮内膜症女性における心血管
系疾患発症の病態解明
■資格
日本産科婦人科学会専門医・
指導医
ALSO 認定インストラクター
NCPR 認定インストラクター
日本 DMAT 隊員



福島 明宗 特任教授
(非常勤)

■専門分野
臨床遺伝学、周産期医学
■研究テーマ・成果
非侵襲的出生前診断法の開発と遺伝
カウンセリング
遺伝情報回付に関する検討
家系図自動作成ソフトの開発 (商標
登録 5777066) と臨床応用
■資格
日本産婦人科学会専門医・指導医
周産期 (母体・胎児) 専門医・指導医
臨床遺伝専門医・指導医
日本病院会認定診療情報管理士
■受賞歴
岩手医科大学医学部授業評価 高評
価表彰 (ベスト・ティーチャー)
■著書
「自動家系図作成ソフト [f-tree] で
学ぶ臨床遺伝学 (中外医学社)」
■現勤務先
岩手医科大学医学部 臨床遺伝学科



清水 直樹 特任教授
(非常勤)

■専門分野
救急医学、集中治療医学、小児科学、
蘇生科学
■資格
医師免許
医学博士
日本救急医学会専門医
日本集中治療医学会専門医
日本小児科学会専門医・指導医
麻酔科標榜医
日本 DMAT 隊員
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
救命・集中治療部



新津 健裕 特任講師
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、小児科学、
Critical Care Outreach
■資格
医師免許
日本集中治療医学会専門医
日本小児科学会専門医・指導医
PALS インストラクター
■現勤務先
埼玉県立小児医療センター
集中治療科



齊藤 修 特任講師
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、小児科学
■資格
医師免許
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会認定医
日本集中治療医学会専門医
日本小児科学会専門医・指導医
インフェクションコントロールドクター
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
救命・集中治療部 集中治療科



本村 誠 特任助教
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、小児科学、
小児循環器医学
■資格
医師免許
日本集中治療医学会 ベッドサイド
エコー・インストラクター
日本呼吸療法医学会 ECMO シュミ
レーション・インストラクター
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
救命・集中治療部 集中治療科

センター教員の日常



水沼センター長

昨年、ホルモン補充療法 (HRT) 外来を附属病院
内に立ち上げ、性差医療センター長で漢方療法が専
門の小宮ひろみ教授と一緒に診療を行い、両療法の
優劣を競って(?)います。熱心に診察を見学する後
期研修医 (マスクの男性)。



高橋教授

生殖医療センターで不妊外来、産婦人科で新患外
来を担当しています。福島県で生殖内分泌領域の臨
床、研究と一緒にやってくれる仲間を募集中です。
ふくしまからはじめよう生殖医療。



福島特任教授

産婦人科臨床実習講義において、出生前診断を含
めた「臨床遺伝学」の講義を行なっています。また
産婦人科遺伝外来において新型出生前診断 (NIPT)
に関わる遺伝カウンセリングを担当しています。



横山教授

発達障害や行動異常がある子どもの早期発見・介
入のシステム作りがミッションです。学生教育はも
ちろん、地域の基幹病院での診療を地域の先生方に
見学していただいています。また、行政や教育、小
児保健との連携を模索しています。



鈴木特任講師 (写真中央)

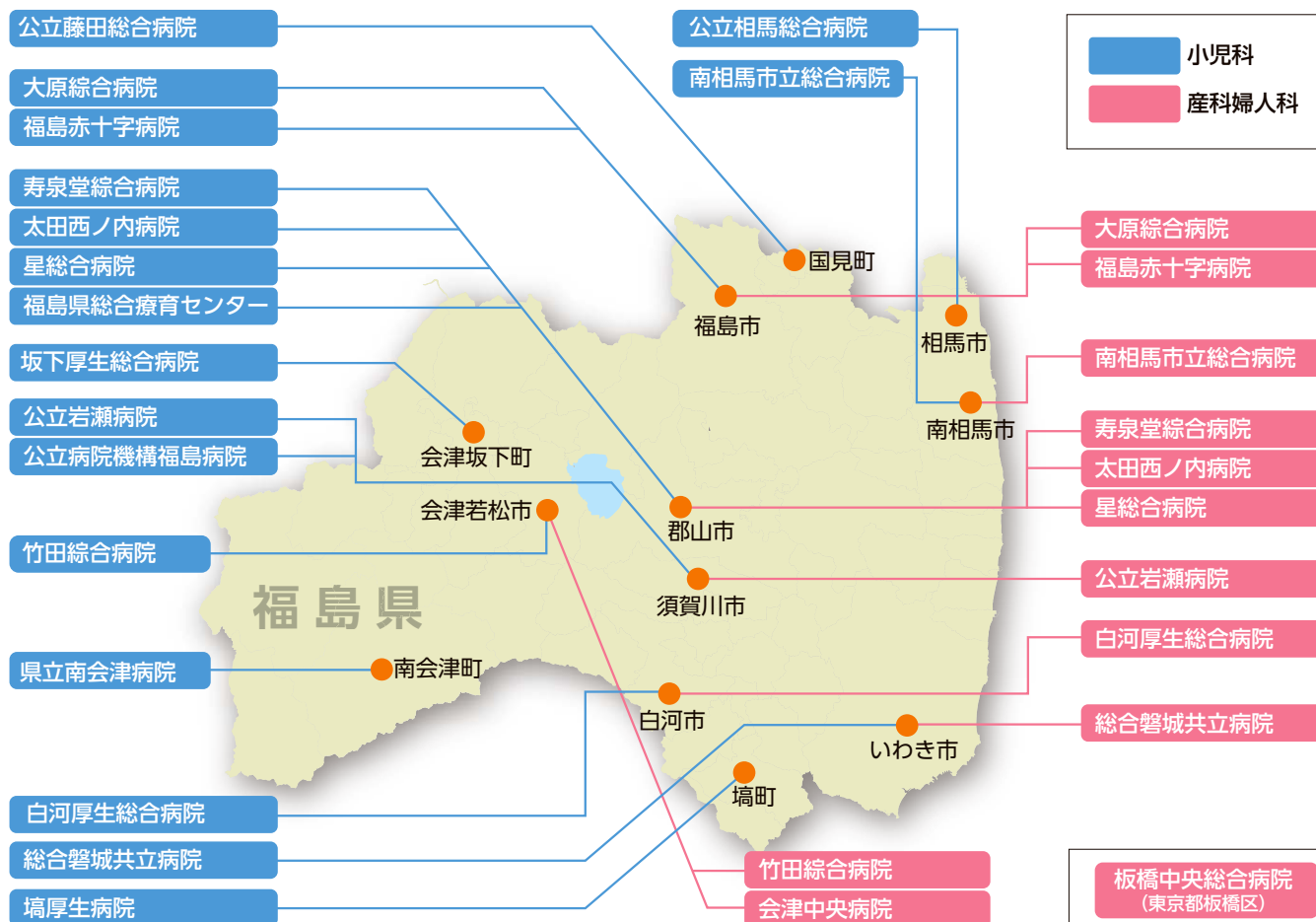
現在は産科チームに所属していますが、ときどき
婦人科手術にも参加しています。腹腔鏡手術が得意
です。産科救急のシミュレーションコースでインス
トラクターとして活動しています。産婦人科の救急
疾患についての学生講義も行っています。



小児特定集中治療室 (PICU)

県内初の PICU として、平成 29 年 4 月から稼働
を開始しました。救命救急センター・特定集中治療
室ならびに学内診療各科と協力しつつ、充実した設
備で診療しています。県内・近隣県の重篤小児緊急
ヘリ搬送・PICU 医師派遣等も検討しています。新た
な領域である小児集中治療の魅力を学生・研修医の
皆様にお伝えしつつ、学問としての確立を目指します。

後期研修協力病院



福島県立医科大学附属病院では、 従来にも増して、子ども・女性医療に 力を入れていきます。

平成 28 年 12 月に「ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟（みらい棟）」が完成し、小児科、産婦人科関連診療科が集約され、こども医療センター、総合周産期母子医療センターを中心とした医療体制が整備されました。

また、この建物では国内最大規模の RI 内用療法施設を備え、がんの早期発見、早期治療を行うほか、救急医療や災害・被災者医療にも注力し、高度医療サービスの充実を図っていきます。



みらい棟 エントランスホール

壁画は、『草花が芽吹き、新しいいのちが生まれる春。キビタキの森でも長い冬が終わりを告げ、あたたかな春風が吹きはじめ、キビタキ達も春の訪れに喜び、森を飛びまわり、小鳥たちも自分で飛ぶのが上手になってきた。』そんな喜びに満ちた福島の春の森の風景を表現しています。